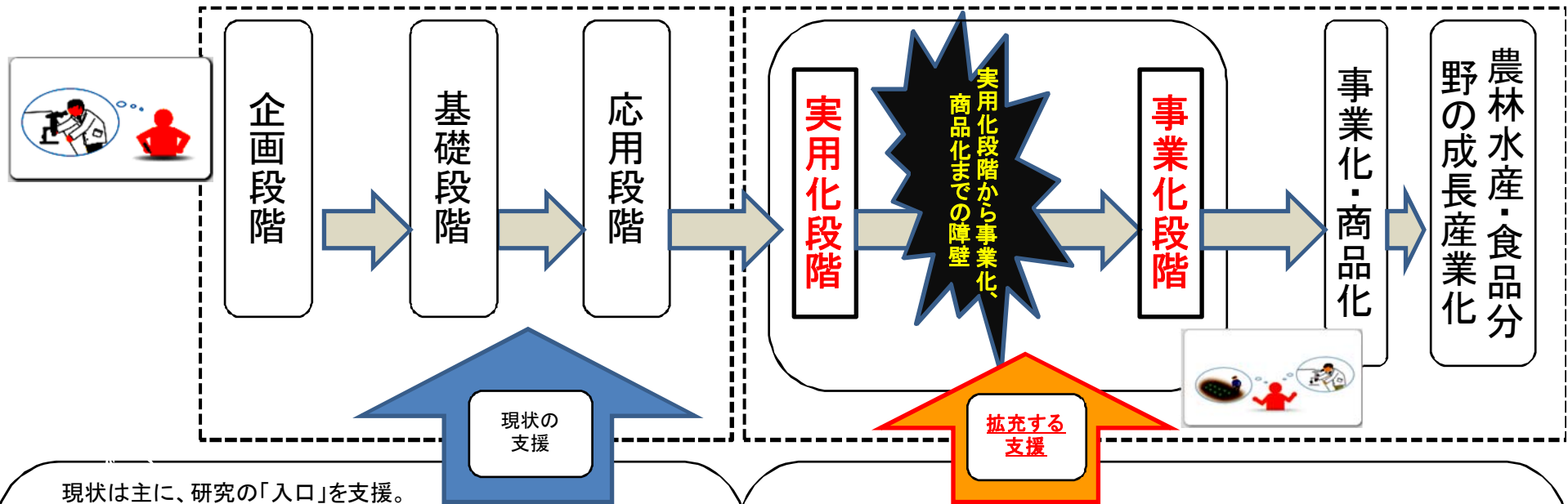


# 【平成26年度】事業化を加速する産学連携支援事業

- コーディネーターを全国に配置することにより、民間企業等による事業化に向けた研究や、異分野と融合した研究などを支援し、それらの研究活動を促進。
- 研究成果の事業化をさらに加速させるため、研究の「入口」だけでなく「出口」も含めて、入口から出口まで支援対象を拡大。

【コーディネーターが各研究ステージに応じて事業化に目指した支援を実施】



現状は主に、研究の「入口」を支援。

- 研究ニーズ、技術的課題の収集
- 技術の発掘（地域の技術の芽を把握）
- マッチング支援（現地ニーズと、シーズのマッチング）
- 課題解決に適した共同研究の参画機関の紹介
- 研究計画立案時の知的財産関係の相談対応
- 想定される研究成果の先行特許調査
- 各地域の産学官連携支援機関の紹介
- 各地域で優れた新技術の展示会等の開催
- 競争的資金制度の紹介、申請支援
- 地域内外の産学官の多様な連携体制の構築

研究の「入口」だけでなく「出口」を含めて、入口から出口まで一貫して支援。具体的には、左に加えて以下の取組を追加。

- POとの連携をさらに促進（アドバイザー等などで研究に参画）
- コーディネーターの能力の高位平準化（事業化を促進するため、特に、知的財産や技術経営分野の能力を強化）
- 専門型コーディネーター（非常勤コーディネーター）の拡充
- 産業界等の技術開発ニーズの収集、活用可能な技術の調査及び紹介
- 「革新的技術創造促進事業」の紹介（「事業化促進研究」の申請支援）
- 事業化・商品化に係る研究機関やパートナー企業等の紹介
- 事業化・商品化に当たっての規制・規格等の調査・情報提供

コーディネーターの支援活動